

## 第2章 保護者調査の結果

### 第1節 子どもの携帯電話の利用状況

#### (1) 携帯電話の所有状況

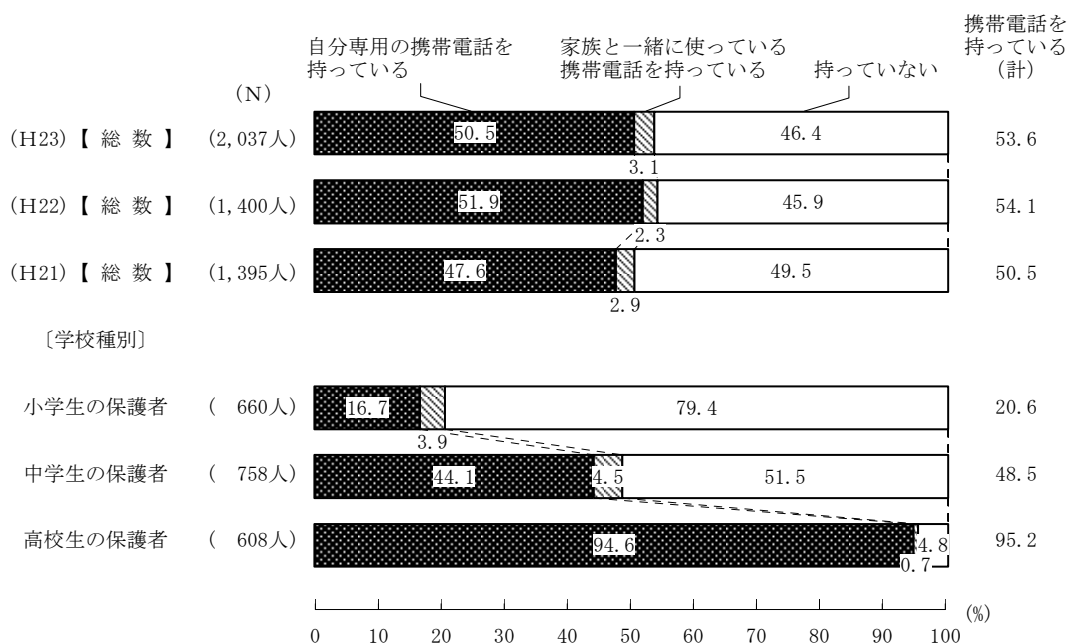
回答した全ての保護者(2,037人)に、子どもの携帯電話(PHSを含む。以下同じ)の所有状況について聞いたところ、「自分専用の携帯電話を持っている」が50.5%、「家族と一緒に使っている携帯電話を持っている」が3.1%、「持っていない」が46.4%となり、「自分専用の携帯電話」と「家族と一緒に使っている携帯電話」を合わせた『携帯電話を持っている(計)』は53.6%で、「持っていない」を約7ポイント上回っている。

平成21年度及び22年度の調査結果と比較すると、『携帯電話を持っている(計)』は21年度(50.5%)と比べるとやや増加しているが、22年度(54.1%)とは差はみられない。

学校種別にみると、学校種が上がるほど携帯電話の所有率が上がり、小学生では1割台後半(16.7%)であるが、中学生では4割半ば(44.1%)、高校生ではほとんど(94.6%)が自分専用の携帯電話を持っている。

図表Ⅱ-2-1-1 携帯電話の所有状況(学校種別)

Q1 【回答票1】〇〇さんは、携帯電話(PHSを含む)をお持ち(だと思ひ)ですか。この中から1つだけお答えください。



## (2) 携帯電話の種類

子どもが「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者(1,092人)に、子どもが所有している携帯電話の種類について聞いたところ、「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」が19.1%、「スマートフォン」が5.7%となっているのに対し、「その他の携帯電話」が75.2%となっている。

平成22年度の調査結果と比べると、「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」、「スマートフォン」のいずれも22年度(順に、17.3%、2.5%)より増加傾向を示している。

学校種別にみると、学校種が上がるほど「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」が少なくなり、小学生の保護者では5割台前半(52.2%)であるのに対し、中学生の保護者では2割台前半(22.6%)、高校生の保護者では約1割(9.5%)となっており、平成22年度(小学生保護者:53.1%、中学生保護者:15.7%、高校生保護者:9.1%)と比べると、小学生と高校生の保護者ではやや減少しているのに対し、中学生の保護者では約7ポイント増加している。

図表Ⅱ-2-1-2 携帯電話の保有機種(学校種別)

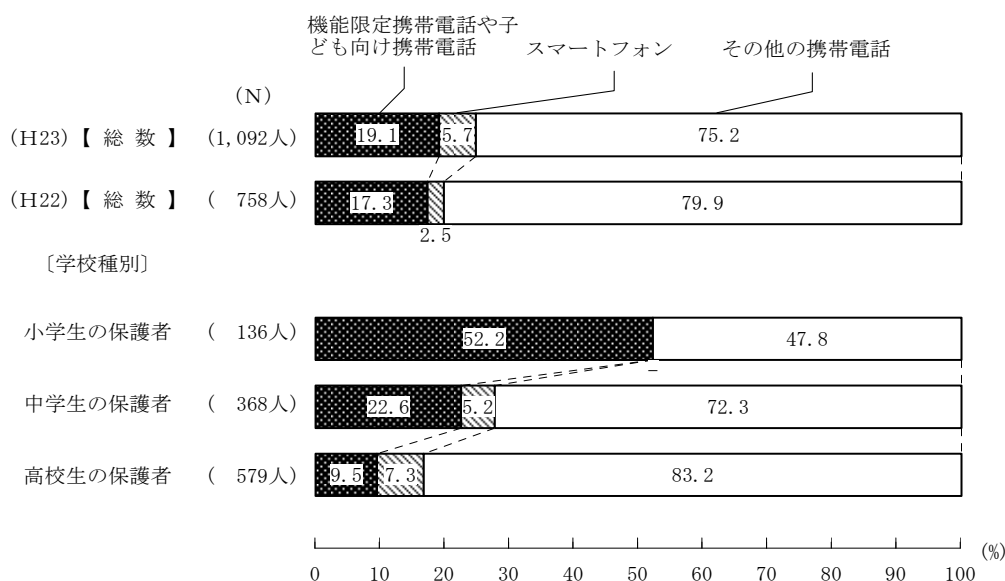
<Q1で「1」又は「2」と答えた方に>

Q2 【回答票2】 ○○さんが持っている携帯電話(PHSを含む)の種類はどのようなもの(だと思ひ)ですか。この中から1つだけお答えください。

調査員注: 資料(回答票に掲載した説明文、「主な機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話等の写真」及び「主なスマートフォンの写真」)をしっかりと見てもらってから、回答してもらうこと

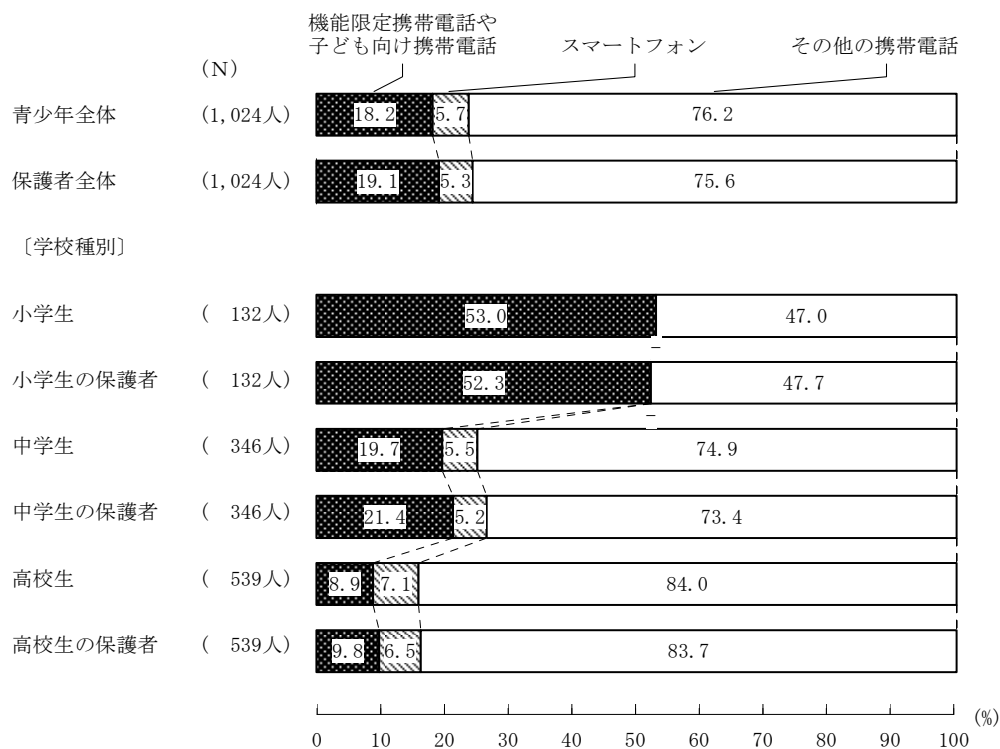
(資料) ここでいう「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」とは …… キッズケータイ(NTTドコモ)、mamorino2(KDDI (au))、コドモバイル(ソフトバンクモバイル)など、メールを利用できなかつたり、インターネット上のサイトを見ることができない携帯電話(PHSを含む)や、主に子どもによる使用を想定している携帯電話(PHSを含む)

ここでいう「スマートフォン」とは …… MEDIAS(NTTドコモ)、ISシリーズ(KDDI (au))、iPhone(ソフトバンクモバイル)、W-ZEROシリーズ(ウィルコム)、Aria(イー・アクセス(EMOBILE))など、パソコン向けのインターネット上のサイトをパソコンと同じように見ることができ、パソコンと同じような機能を自由に追加できる携帯電話



青少年とその保護者（父母）の双方が『携帯電話を持っている（計）』と回答した 1,024 組を母数として、携帯電話の種類についてみると、子どもが「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」を持っていると回答した保護者は 19.1%、「スマートフォン」を所有していると回答した青少年は 5.7%となっている。

図表Ⅱ-2-1-3 携帯電話の保有機種【ペア票ベース】



(3) 使い始めた時期

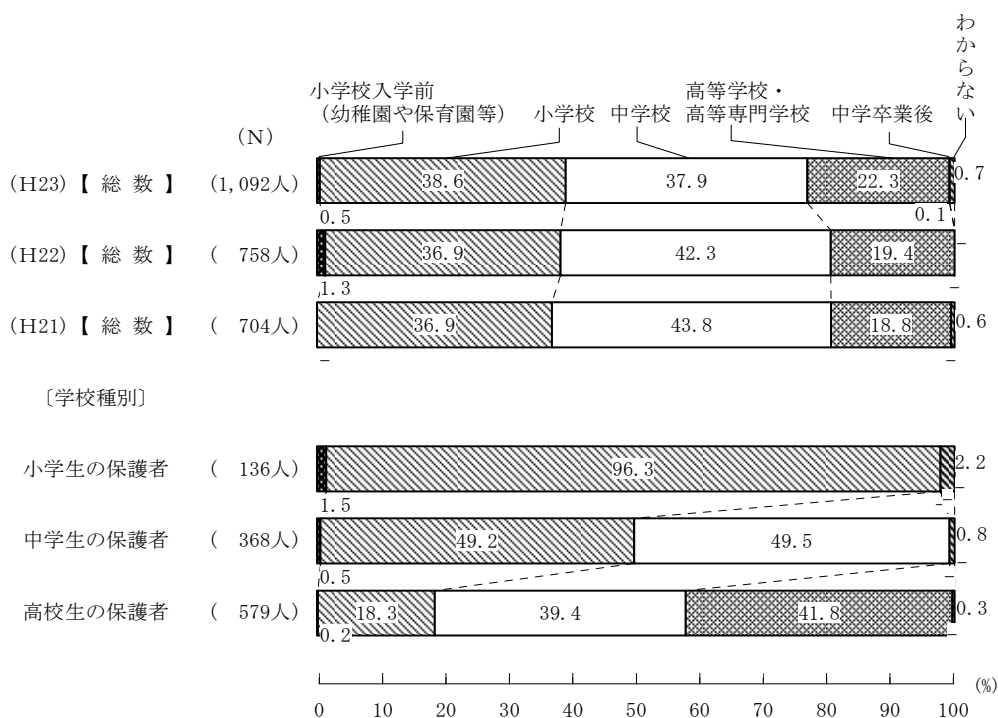
子どもが「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者(1,092人)に、子どもが携帯電話を使い始めた時期を聞いたところ、「小学校」が38.6%、「中学校」が37.9%、「高等学校・高等専門学校」が22.3%となっており、「小学校入学前」は0.5%、高等学校・高等専門学校に通っている場合を除く「中学卒業後」は0.1%とわずかにみられた。

平成21年度及び22年度の調査結果と比べると、21年度と22年度は「中学校」(順に、43.8%、42.3%)で使い始めたと回答した保護者が最も多かったが、23年度では「小学校」(38.6%)と「中学校」(37.9%)がほとんど同じになっている。

学校種別にみると、高校生の保護者では「小学校」が18.3%、「中学校」は39.4%、「高等学校・高等専門学校」が41.8%となっている。

図表Ⅱ-2-1-4 使い始めた時期(学校種別)

Q3 ○○さんが、携帯電話を使い始めたのは何年生の頃(だと思ひ)ですか。  
 (使い始めたのが中学卒業後で学校に通っていない場合)では、使い始めたのは中学卒業後何年目位でしょうか。  
 調査員注: 学校の種別を確認し○をした上で、学年を記入すること。なお、「1」の場合は学年を聞く必要はない。



使い始めた学年では、「中学校1年生」(22.6%)が最も多く、次いで「高等学校・高等専門学校1年生」(22.0%)となっており、進学を機に使い始めることが多いようである。

平成21年度及び22年度の調査結果と比べると、「小学校入学前(幼稚園や保育園など)」が、21年度ではみられなかったが、22年度では1.3%(10人)、23年度では0.5%(5人)とわずかにみられる。

図表Ⅱ-2-1-5 使い始めた時期(学年)

		総数	小学校入学前	小学校							わからない
				1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
平成23年	n	1092	5	48	24	60	77	106	106	0	
	%	100.0	0.5	4.4	2.2	5.5	7.1	9.7	9.7	-	
平成22年	n	758	10	21	13	36	72	79	59	0	
	%	100.0	1.3	2.8	1.7	4.7	9.5	10.4	7.8	-	
平成21年	n	704	0	17	18	39	63	65	58	0	
	%	100.0	-	2.4	2.6	5.5	8.9	9.2	8.2	-	

		総数	中学校				高等学校・高等専門学校				中学卒業後	わからない
			1年生	2年生	3年生	わからない	1年生	2年生	3年生	わからない		
平成23年	n	1092	247	85	79	3	240	3	0	0	1	8
	%	100.0	22.6	7.8	7.2	0.3	22.0	0.3	-	-	0.1	0.7
平成22年	n	758	176	79	63	3	144	2	1	0	0	0
	%	100.0	23.2	10.4	8.3	0.4	19.0	0.3	0.1	-	-	-
平成21年	n	704	170	75	62	1	127	5	0	0	0	4
	%	100.0	24.1	10.7	8.8	0.1	18.0	0.7	-	-	-	0.6

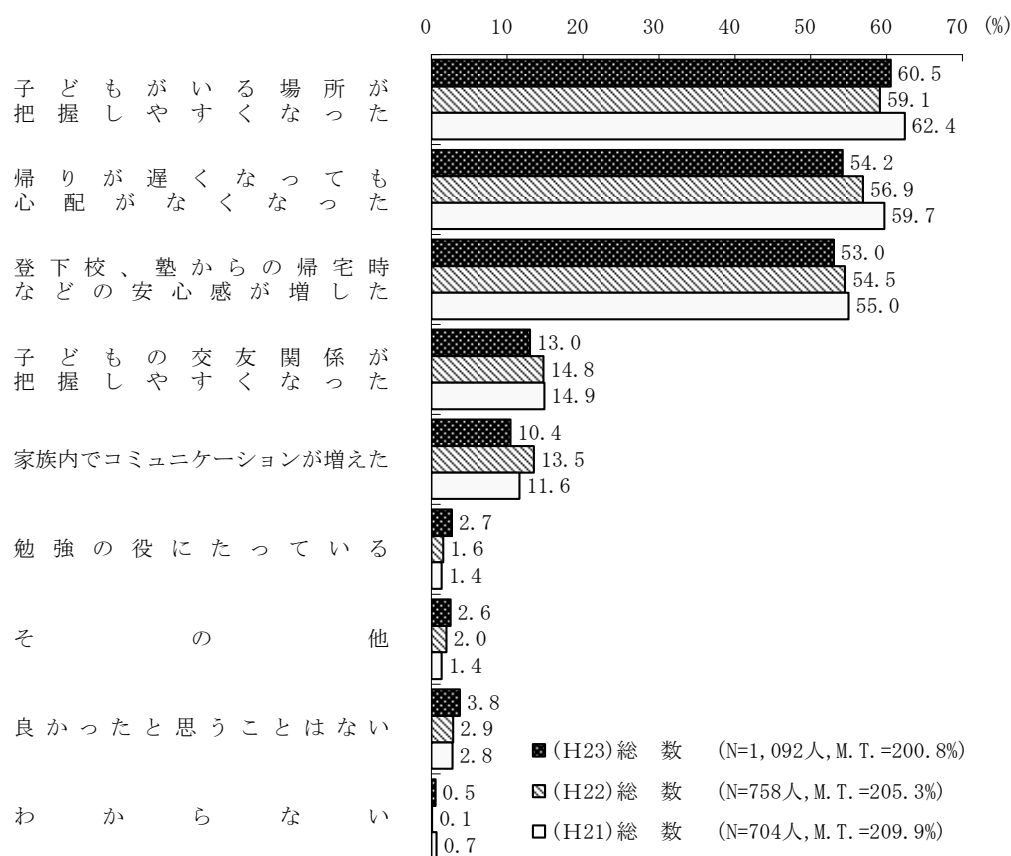
(4) 携帯電話を持たせて良かったこと

子どもが「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者(1,092人)に、携帯電話を持たせて良かったと思うことを聞いたところ、「子どもがいる場所が把握しやすくなった」(60.5%)、「帰りが遅くなっても心配がなくなった」(54.2%)、「登下校、塾からの帰宅時などの安心感が増した」(53.0%)の3項目は5～6割と多く、次いで「子どもの交友関係が把握しやすくなった」が13.0%、「家族内でコミュニケーションが増えた」が10.4%などとなっている。

平成21年度及び22年度の調査結果と比べると、「帰りが遅くなっても心配がなくなった」はやや減少傾向がみられる。

図表Ⅱ-2-1-6 携帯電話を持たせて良かったこと

Q4 【回答票3】 ○○さんに携帯電話を持たせて、良かったと思うことはありますか。この中から、あてはまるものをいくつでもあげてください。(M.A.)



学校種別にみると、「子どもがいる場所が把握しやすくなった」は、小学生の保護者（69.9%）、中学生の保護者（59.0%）、高校生の保護者（59.2%）といずれの学校種でも多くなっている。また、高校生の保護者では、「帰りが遅くなっても心配がなくなった」（63.9%）が6割を超え最も多くなっており、「登下校、塾からの帰宅時などの安心感が増した」（57.5%）も半数を上回っている。

図表Ⅱ-2-1-7 携帯電話を持たせて良かったこと（学校種別）

	n（人）	子どもがいる場所が把握しやすくなった	心配がなくなっても帰りが遅くなっても	登下校、塾からの帰宅時などの安心感が増した	子どもの交友関係が把握しやすくなった	家族内でコミュニケーションが増えた	勉強の役にたっている	その他	良かったと思うことはない	わからない	
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	
平成23年度	総数	1092	60.5	54.2	53.0	13.0	10.4	2.7	2.6	3.8	0.5
	[学校種別]										
	小学生の保護者	136	69.9	32.4	47.1	10.3	8.1	-	2.9	2.9	1.5
	中学生の保護者	368	59.0	46.5	48.9	18.8	12.0	3.0	3.3	4.1	0.3
	高校生の保護者	579	59.2	63.9	57.5	10.0	9.8	3.3	2.1	3.8	0.5
平成22年度	総数	758	59.1	56.9	54.5	14.8	13.5	1.6	2.0	2.9	0.1
	[学校種別]										
	小学生の保護者	98	63.3	38.8	56.1	10.2	14.3	1.0	1.0	1.0	-
	中学生の保護者	286	62.6	52.4	46.9	21.0	12.2	1.0	1.7	3.1	0.3
	高校生の保護者	373	55.2	65.1	60.1	11.3	13.9	2.1	2.4	3.2	-
平成21年度	総数	704	62.4	59.7	55.0	14.9	11.6	1.4	1.4	2.8	0.7
	[学校種別]										
	小学生の保護者	107	60.7	40.2	51.4	15.0	14.0	0.9	-	4.7	0.9
	中学生の保護者	243	69.1	55.6	51.9	18.9	11.9	1.2	0.8	2.5	1.6
	高校生の保護者	326	58.0	69.6	60.7	11.3	10.7	1.8	2.5	1.8	-

## (5) インターネットの利用

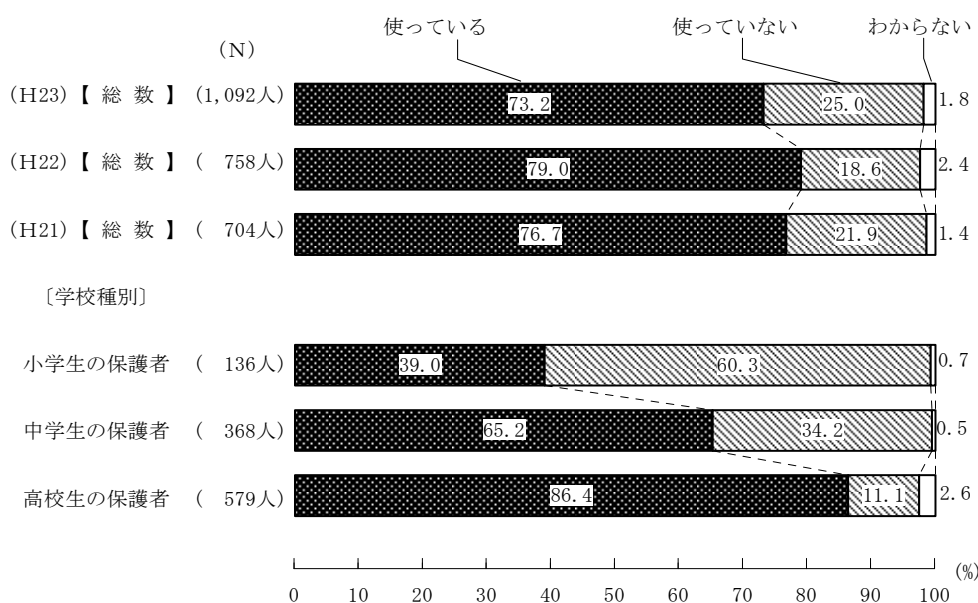
子どもが「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者(1,092人)に、子どもが携帯電話でインターネットを使っているかを聞いたところ、「使っている」が73.2%を占め、「使っていない」は25.0%、「わからない」は1.8%となっている。

平成21年度及び22年度の調査結果と比べると、「使っている」は22年度(79.0%)よりやや減少しているが、21年度(76.7%)とは大きな差はみられない。

学校種別にみると、学校種が上がるほど携帯電話でのインターネット利用が多くなり、小学生では39.0%であるが、中学生では65.2%に増え、高校生では86.4%が利用している。

図表Ⅱ-2-1-8 インターネットの利用(学校種別)

Q5 ○○さんは、携帯電話でインターネットを使って(いると思)いますか。ここでいう「インターネットを使う」とは、メールをやりとりしたり、サイトにアクセスしたりすることをいいます。





青少年の携帯電話でのインターネット利用率（第1章第1節（6）（25頁））と、保護者が子どもの利用状況をどの程度認識しているかを比較してみると、「利用している」については、青少年全体（95.1%）と保護者全体（73.2%）では約22ポイントの開きがある。

学校種別にみると、「利用している」は、いずれの学校種でも青少年の回答が保護者の回答を上回っており、特に小学生（青少年：75.2%、保護者：39.0%）では約36ポイント、中学生（青少年：95.7%、保護者：65.2%）では約31ポイントと大きな開きがある。

図表Ⅱ-2-1-9 インターネットの利用（青少年と保護者の比較）

	n (人)	利用 している	利用 していない	わ か ら な い
	人	%	%	%
青少年全体	1,036	95.1	4.9	-
保護者全体	1,092	73.2	25.0	1.8
[学 校 種 別]				
小学生	133	75.2	24.8	-
小学生の保護者	136	39.0	60.3	0.7
中学生	351	95.7	4.3	-
中学生の保護者	368	65.2	34.2	0.5
高校生	545	99.4	0.6	-
高校生の保護者	579	86.4	11.1	2.6

また、青少年の携帯電話でのインターネット利用率を、携帯電話を持っていない人も含めた全数ベースで比較すると、全体、学校種別とも、青少年の「利用している」が保護者の認識を上回っている。特に、中学生、高校生で差が大きく、それぞれ10ポイント以上の開きがある。

図表Ⅱ-2-1-10 インターネットの利用（青少年と保護者の比較）【全数ベース】

	n (人)	利用 している	利用 していない	わ か ら な い	携 帯 電 話 を 持 っ て い な い
	人	%	%	%	%
青少年全体	1,969	50.0	2.6	-	47.4
保護者全体	2,037	39.2	13.4	1.0	46.4
[学 校 種 別]					
小学生	656	15.2	5.0	-	79.7
小学生の保護者	660	8.0	12.4	0.2	79.4
中学生	734	45.8	2.0	-	52.2
中学生の保護者	758	31.7	16.6	0.3	51.5
高校生	570	95.1	0.5	-	4.4
高校生の保護者	608	82.2	10.5	2.5	4.8

(6) フィルタリングの利用

子どもが「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者(1,092人)に、その携帯電話にフィルタリングを使っているかを聞いたところ、「使っている」が55.3%、「インターネットが使えない機種・設定になっている」が4.4%で、両方を合わせた『制限あり(計)』は59.7%となっている。一方、「使っていない」は32.5%、「使っていたが解除した」は3.0%となっている。また、「わからない」は4.8%となっている。

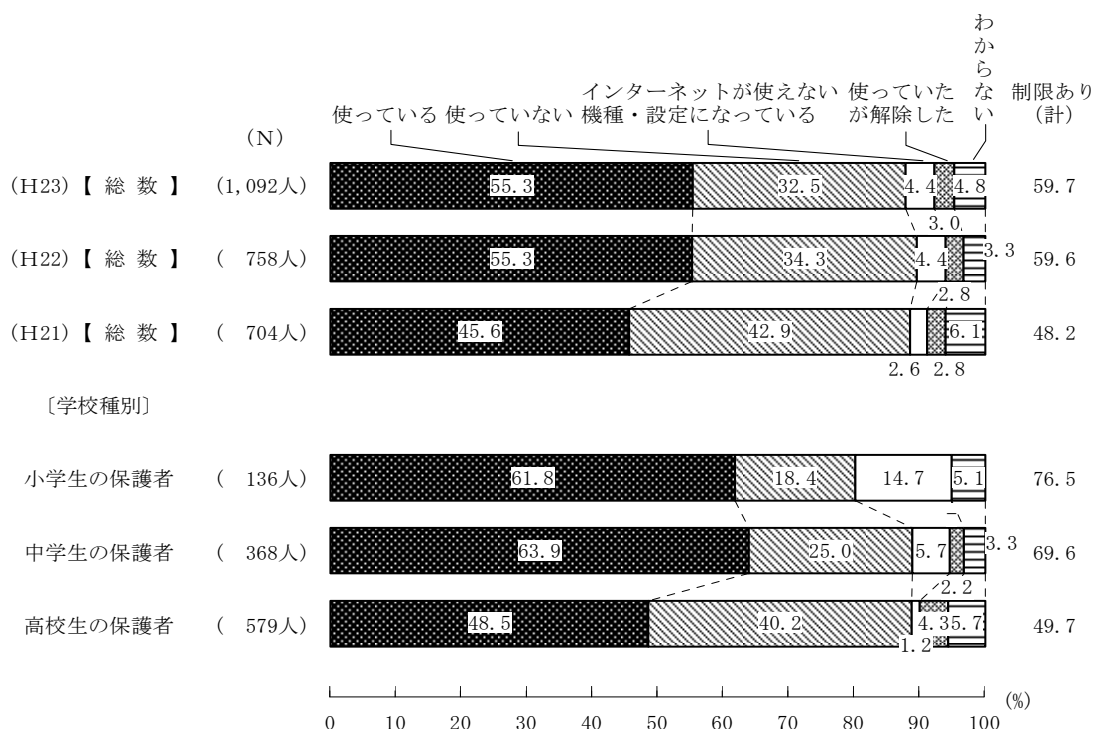
平成21年度及び22年度の調査結果と比べると、『制限あり(計)』では、21年度(48.2%)と比べると約12ポイント増加しているが、22年度(59.6%)からは差はみられない。

学校種別にみると、学校種が下がるほど『制限あり(計)』が多くなり、高校生では約5割(49.7%)であるが、中学生では約7割(69.6%)に増加し、小学生では7割台後半(76.5%)となっており、平成21年度(小学生保護者:61.7%、中学生保護者:54.7%、高校生保護者:38.7%)からは大きく増加しているが、22年度(小学生保護者:77.6%、中学生保護者:67.1%、高校生保護者:49.3%)とは大きな増減はみられない。

図表Ⅱ-2-1-11 フィルタリングの利用(学校種別)

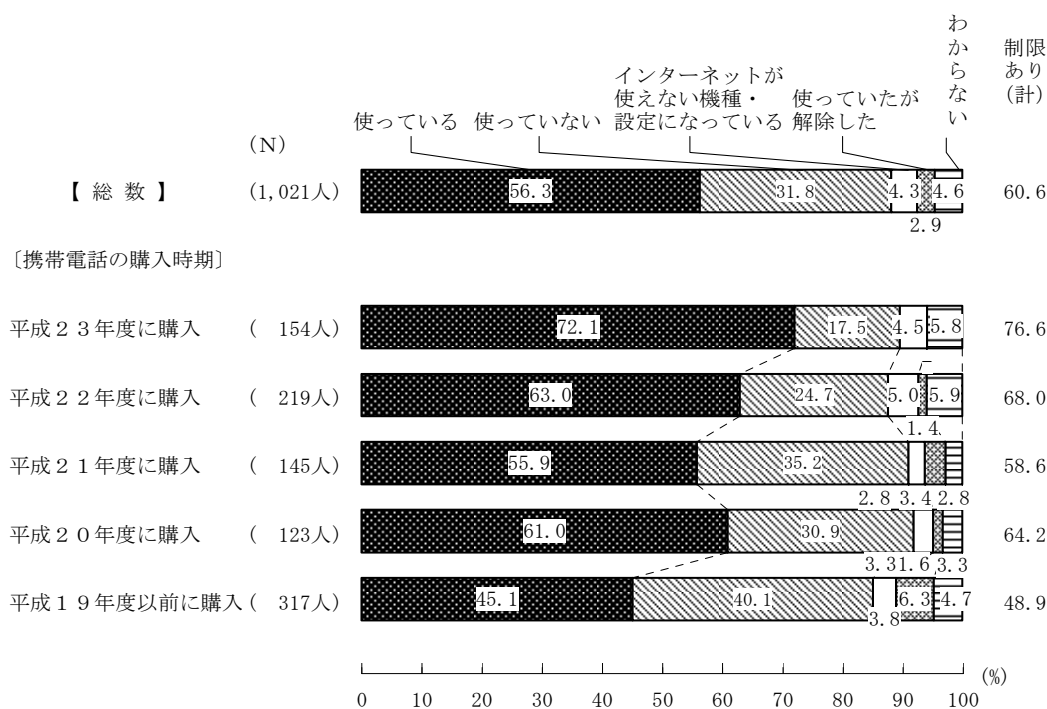
Q6 【回答票4】〇〇さんが使用している携帯電話にフィルタリングを使っていますか。  
 この中から1つだけお答えください。  
 調査員注:資料〔[回答票に掲載した説明文及び「フィルタリングのイメージ図」]〕をしっかりと見てもらってから、回答してもらうこと。

(資料) フィルタリングとは … インターネット上の有害なサイトを見られないようにするための設定、いわゆる「有害サイトへのアクセス制限サービス(ウェブ制限・時間制限を含む)」のこと(「フィルタリングのイメージ図」含む)



携帯電話の購入時期別にみると、フィルタリングを「使っている」は、購入時期が新しくなるにつれ多くなる傾向を示しており、平成19年度以前は4割半ば(45.1%)であるが、20年度から22年度までは5割台後半から6割台前半(20年度:61.0%、21年度:55.9%、22年度:63.0%)、23年度は7割台前半(72.1%)となっている。また、『制限あり(計)』も同様に、平成19年度以前は4割台後半(48.9%)、20年度から22年度までは5割台後半から6割台後半(20年度:64.2%、21年度:58.6%、22年度:68.0%)、23年度は7割台後半(76.6%)と、概ね増加傾向にある。

図表Ⅱ-2-1-12 フィルタリングの利用(携帯電話の購入時期別)



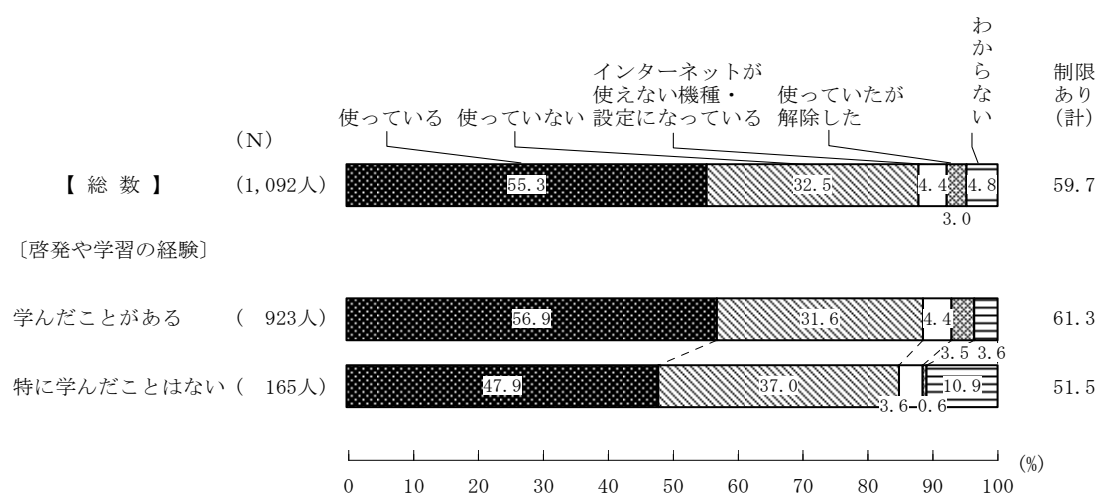
\*購入時期について

自分専用の携帯電話を持っていると回答(保護者票Q1=1)した中で、青少年の現在の学年(青少年票F3)と、使い始めた学年(青少年票Q3)から算出した。

インターネットに関する啓発や学習の経験の有無別（Q24）にみると、『制限あり（計）』については、学んだことがある保護者（61.3%）が、特に学んだことはない保護者（51.5%）を約 10 ポイント上回っている。

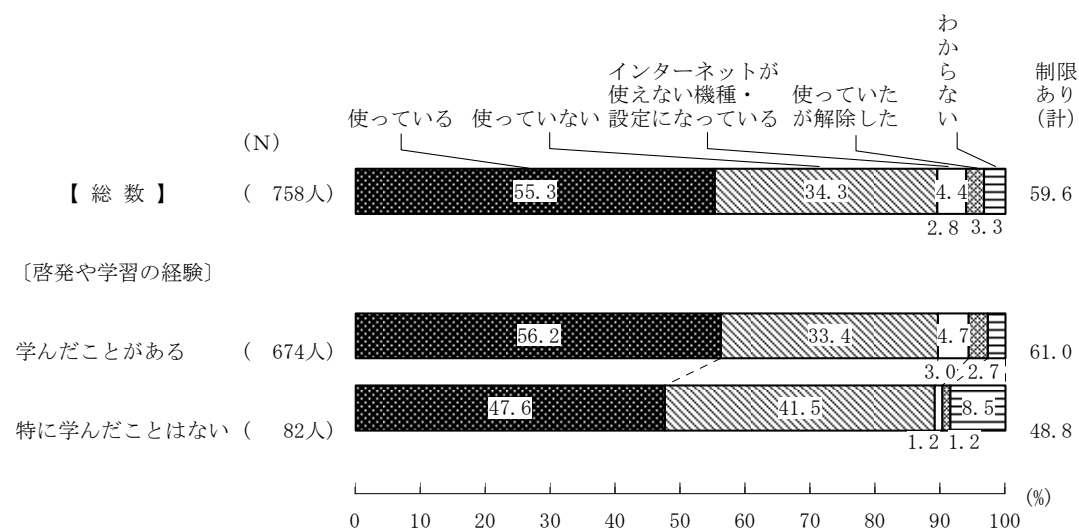
平成 21 年度及び 22 年度の調査結果と比べると、22 年度とは大きな差はみられないが、21 年度と比較すると、学んだことがある保護者（23 年度：61.3%、21 年度：50.0%）と、特に学んだことがない保護者（23 年度：51.5%、21 年度：34.5%）のいずれにおいても、10 ポイント以上増加している。

図表Ⅱ-2-1-13 フィルタリングの利用（啓発や学習の経験別）



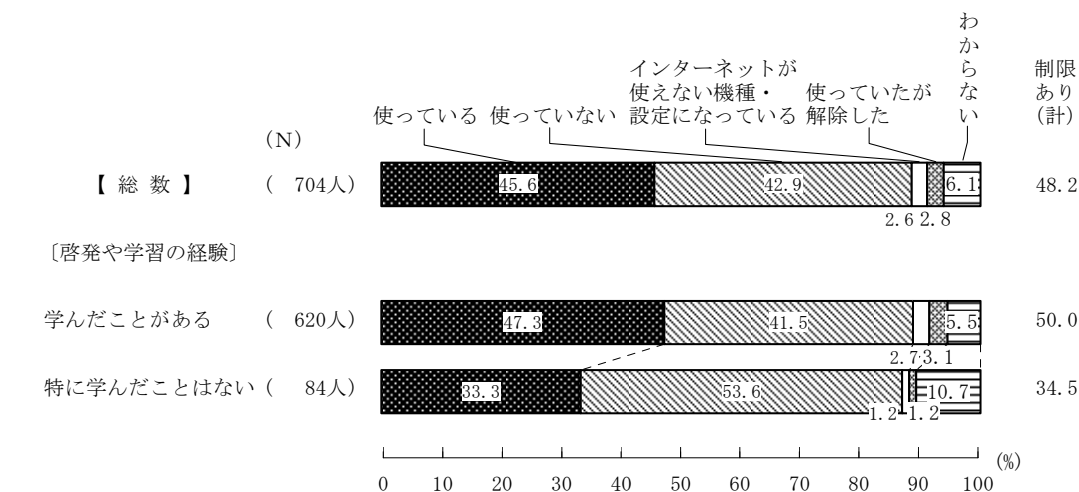
(参考) 平成 22 年度青少年のインターネット利用環境実態調査

図表Ⅱ-2-1-13 フィルタリングの利用 (啓発や学習の経験別)



(参考) 平成 21 年度青少年のインターネット利用環境実態調査

図表Ⅱ-2-1-10 フィルタリングの利用 (啓発や学習の経験別)



さらに、学校種ごとにインターネットに関する啓発や学習の経験の有無別（Q24）にみると、『制限あり（計）』については、中学生の保護者では大きな差はみられないが、高校生の保護者では、学んだことがある保護者（52.0%）が特に学んだことはない保護者（36.0%）を16ポイント上回っている（小学生の保護者については、「特に学んだことはない」のn値（人）が少ないため、以下の図表の値はあくまで参考値にとどまる）。

図表Ⅱ-2-1-14 フィルタリングの利用（啓発や学習の経験・学校種別）

	n (人)	使 っ て い る	使 っ て い な い	機 種 ・ 設 定 に な っ て い る	機 種 ・ 設 定 に な っ て い る	機 種 ・ 設 定 に な っ て い る	機 種 ・ 設 定 に な っ て い る
	人	%	%	%	%	%	%
総数	1,092	55.3	32.5	4.4	3.0	4.8	59.7
学んだことがある（計）	923	56.9	31.6	4.4	3.5	3.6	61.3
特に学んだことはない	165	47.9	37.0	3.6	0.6	10.9	51.5
[啓発や学習の経験]							
小学生の保護者	136	61.8	18.4	14.7	-	5.1	76.5
学んだことがある（計）	101	64.4	16.8	14.9	-	4.0	79.2
特に学んだことはない	34	55.9	23.5	11.8	-	8.8	67.6
中学生の保護者	368	63.9	25.0	5.7	2.2	3.3	69.6
学んだことがある（計）	316	63.9	24.4	6.3	2.5	2.8	70.3
特に学んだことはない	51	64.7	27.5	2.0	-	5.9	66.7
高校生の保護者	579	48.5	40.2	1.2	4.3	5.7	49.7
学んだことがある（計）	502	50.8	39.2	1.2	4.8	4.0	52.0
特に学んだことはない	75	34.7	46.7	1.3	1.3	16.0	36.0

インターネットに関する啓発や学習の経験の有無（Q24）について、携帯電話を買った店員に説明してもらった保護者と、それ以外の啓発のみ経験のある保護者※に分けてみると、フィルタリングを「使っている」は、携帯電話を買った店員に説明してもらった保護者（62.7%）が、それ以外の啓発のみ経験のある保護者（55.6%）、特に学んだことのない保護者（47.9%）よりも多く、それぞれ約7ポイント、約15ポイント上回っている。また、『制限あり（計）』については、携帯電話を買った店員に説明してもらった保護者（65.7%）が、それ以外の啓発のみ経験のある保護者（60.4%）、特に学んだことのない保護者（51.5%）よりも多く、それぞれ約5ポイント、約14ポイント上回っている。

図表Ⅱ-2-1-15 フィルタリングの利用（啓発や学習の機会別）

	n (人)	使 っ て い る	使 っ て い な い	機 種 ・ 設 定 に な っ て 使 え な い	使 っ て い た が 解 除 し た	わ か ら な い	制 限 あ り ( 計 )
	人	%	%	%	%	%	%
総 数	1,092	55.3	32.5	4.4	3.0	4.8	59.7
〔啓発や学習の機会〕							
携帯電話を買った店員に説明してもらった	166	62.7	28.3	3.0	3.0	3.0	65.7
それ以外の啓発経験あり※	757	55.6	32.4	4.8	3.6	3.7	60.4
特に学んだことはない	165	47.9	37.0	3.6	0.6	10.9	51.5
わからない	4	-	50.0	25.0	-	25.0	25.0

※「携帯電話を買った店員に説明してもらった」を回答せず、それ以外の啓発経験（「学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた」、「学校から配布された啓発資料などで知った」、「公共施設などで開かれた講座に参加して教えてもらった」、「友だちから教えてもらった」、「テレビや本・パンフレットなどで知った」、「インターネットで知った」）のうち、少なくとも1つ以上を回答した保護者を集計した。

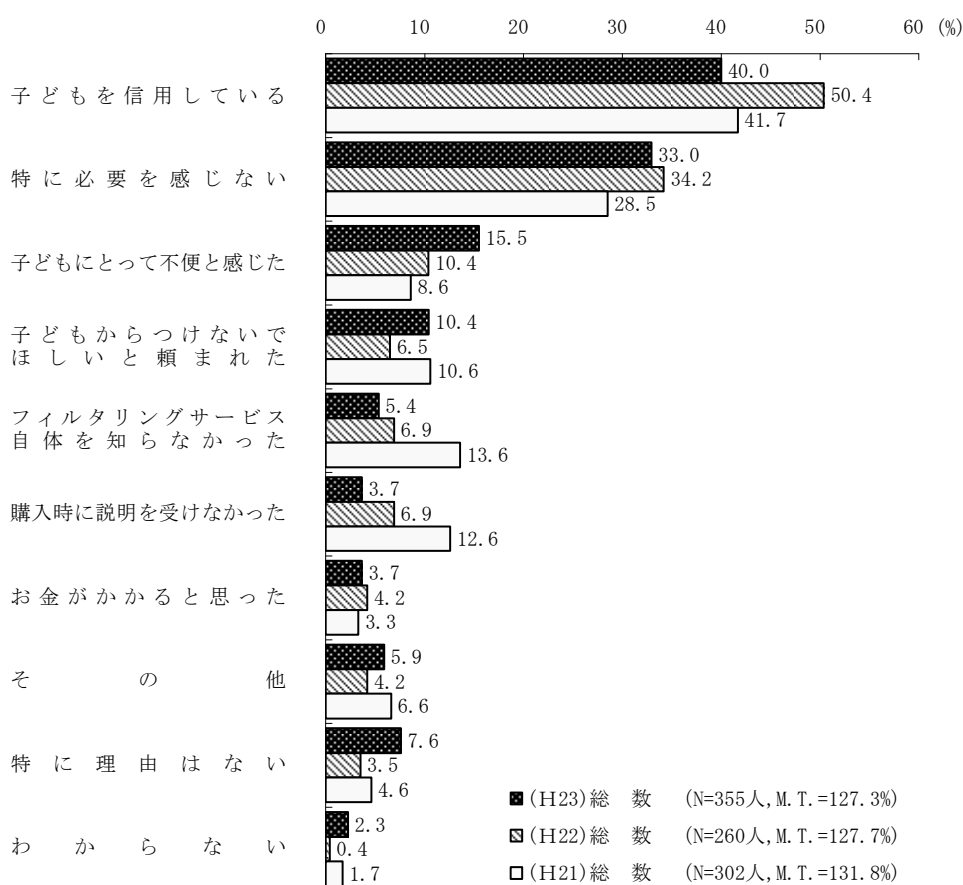
(7) フィルタリングを利用していない理由

フィルタリングを「使っていない」と回答した保護者（355人）に、その理由を聞いたところ、「子どもを信用している」が40.0%と最も多く、次いで「特に必要を感じない」が33.0%と続く。

平成21年度及び22年度の調査結果と比べると、「子どもを信用している」は、22年度（50.4%）と比べて約10ポイント減少している。また、「フィルタリングサービス自体を知らなかった」（21年度：13.6%、22年度：6.9%、23年度：5.4%）、「購入時に説明を受けなかった」（21年度：12.6%、22年度：6.9%、23年度：3.7%）も、いずれも減少傾向を示している。一方、「子どもにとって不便と感じた」（21年度：8.6%、22年度：10.4%、23年度：15.5%）は増加傾向を示している。

図表Ⅱ-2-1-16 フィルタリングを利用していない理由

<Q6で「2」と答えた方に>  
 Q7 【回答票5】 フィルタリングを使っていないのはなぜですか。この中から、あてはまるものをいくつでもあげてください。(M.A.)





学校種別にみると、「子どもを信用している」は学校種が上がるほど多くなっており、中学生の保護者では3割半ば（35.9%）、高校生の保護者では4割半ば（44.6%）となっている。

図表Ⅱ-2-1-17 フィルタリングを利用していない理由（学校種別）

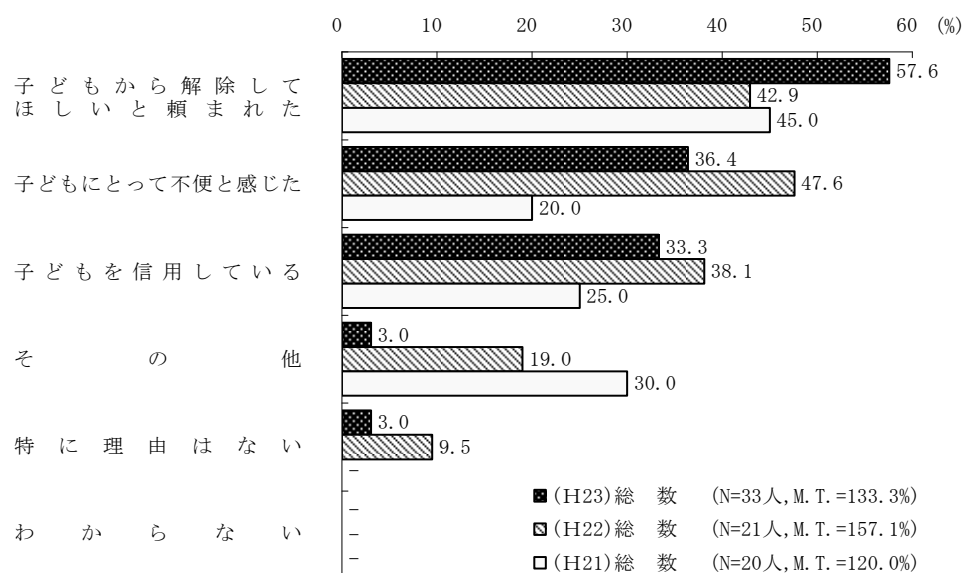
	n(人)	子どもを信用している	特に必要を感じない	子どもにとって不便と感じた	子どもからつけられないでほしいと頼まれた	フィルタリングサービス自体を知らなかった	購入時に説明を受けなかった	お金がかかると思った	その他	特に理由はない	わからない	
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
平成23年度	総数	355	40.0	33.0	15.5	10.4	5.4	3.7	3.7	5.9	7.6	2.3
	[学校種別]											
	小学生の保護者	25	12.0	32.0	-	4.0	8.0	-	4.0	16.0	20.0	8.0
	中学生の保護者	92	35.9	40.2	19.6	9.8	6.5	2.2	5.4	6.5	5.4	2.2
	高校生の保護者	233	44.6	30.5	15.9	11.6	4.3	4.7	3.0	4.7	6.9	1.7
平成22年度	総数	260	50.4	34.2	10.4	6.5	6.9	6.9	4.2	4.2	3.5	0.4
	[学校種別]											
	小学生の保護者	22	22.7	54.5	-	-	9.1	-	4.5	9.1	4.5	-
	中学生の保護者	83	47.0	34.9	3.6	3.6	10.8	9.6	3.6	3.6	2.4	1.2
	高校生の保護者	154	56.5	30.5	15.6	9.1	4.5	6.5	4.5	3.9	3.9	-
平成21年度	総数	302	41.7	28.5	8.6	10.6	13.6	12.6	3.3	6.6	4.6	1.7
	[学校種別]											
	小学生の保護者	38	13.2	36.8	2.6	-	13.2	13.2	2.6	15.8	10.5	-
	中学生の保護者	91	45.1	29.7	4.4	7.7	13.2	17.6	3.3	8.8	3.3	3.3
	高校生の保護者	161	47.8	25.5	11.2	15.5	12.4	9.3	3.7	3.7	4.3	1.2

(8) フィルタリングを解除した理由

フィルタリングを「使っていたが解除した」と回答した保護者(33人)に、その理由を聞いたところ、19人(57.6%)が「子どもから解除してほしいと頼まれた」、12人(36.4%)が「子どもにとって不便と感じた」、11人(33.3%)が「子どもを信用している」と回答している。

図表Ⅱ-2-1-18 フィルタリングを解除した理由

<Q6で「4」と答えた方に>  
 Q8 【回答票6】 フィルタリングを解除したのはなぜですか。この中から、あてはまるものをいくつでもあげてください。(M.A.)



(9) 携帯電話を購入する際、子どもが使用する旨を販売業者に伝えたか

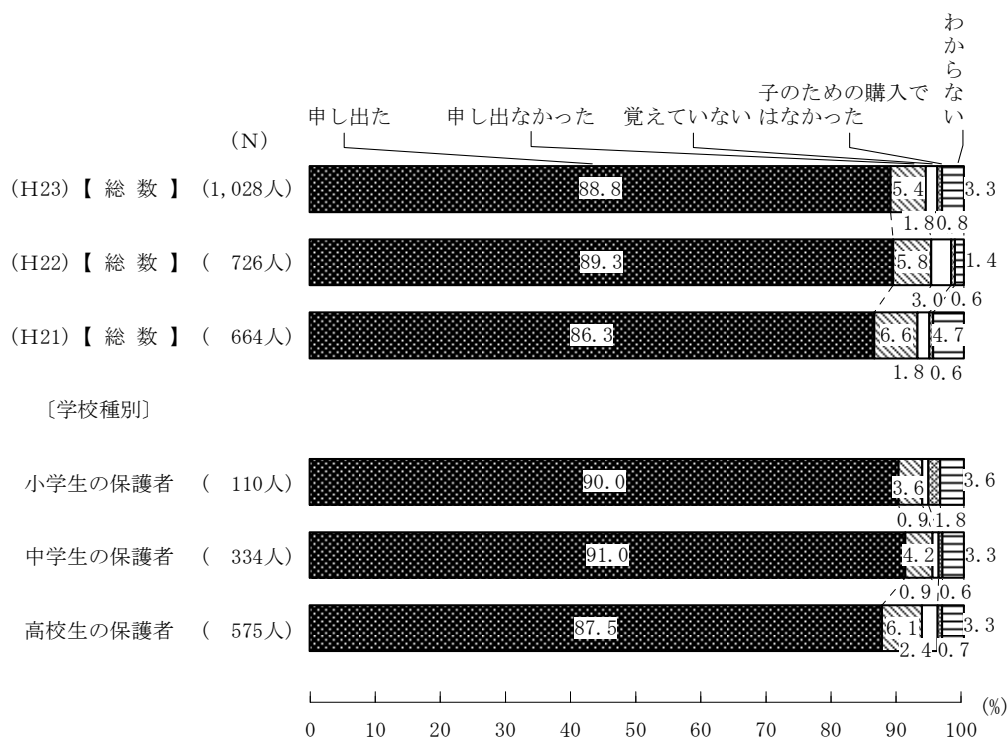
子どもが「自分専用の携帯電話を持っている」と回答した保護者(1,028人)に、携帯電話を購入する際、販売業者に対して子どもが使用することを伝えたかを聞いたところ、9割弱(88.8%)が「申し出た」と回答しており、「申し出なかった」は5.4%にとどまっている。

平成21年度及び22年度の調査結果と比べても、大きな差はみられない。

学校種別にみても、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-1-19 携帯電話を購入する際、子どもが使用する旨を販売業者に伝えたか  
(学校種別)

<〇〇さんが自分専用の携帯電話を持っている方に(Q1で「1」と回答)>  
Q9 〇〇さんのために携帯電話を購入する際に、販売業者に対して「子どもが使用する」旨を申し出ましたか。



携帯電話の購入時期別にみても、「申し出た」は平成 20 年度以降、約 9 割で変化はみられない。

図表Ⅱ-2-1-20 携帯電話を購入する際、子どもが使用する旨を販売業者に伝えたか  
(購入時期別)

	n (人)	申し出た	申し出なかった	覚えていない	子 な か つ た た め の 購 入 で は	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
総 数	958	89.4	5.2	1.8	0.8	2.8
[ 購 入 時 期 ]						
平成 23 年度	154	89.0	3.9	1.3	0.6	5.2
平成 22 年度	219	90.9	4.6	0.9	1.4	2.3
平成 21 年度	145	89.0	7.6	2.1	-	1.4
平成 20 年度	123	90.2	2.4	3.3	1.6	2.4
平成 19 年度以前	317	88.3	6.3	1.9	0.6	2.8

\*購入時期について

自分専用の携帯電話を持っていると回答(保護者票Q1=1)した中で、青少年の現在の学年(青少年票F3)と、使い始めた学年(青少年票Q3)から算出した。

インターネットに関する啓発や学習の経験の有無別（Q24）にみると、「申し出た」は、学んだことがある（特に学んだことはないや、わからない以外の回答）保護者（90.6%）が、特に学んだことはない保護者（82.9%）よりも約8ポイント上回っている。なお、学校種別については、特に学んだことはない保護者のn値（人）が少ないため、以下の図表の値はあくまで参考値にとどまる。

図表Ⅱ-2-1-21 携帯電話を購入する際、子どもが使用する旨を販売業者に伝えたか  
（啓発や学習の経験別）

	n (人)	申し出た	申し出なかつた	覚えていない	子 な か つ た た め の 購 入 で は	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
総数	1,028	88.8	5.4	1.8	0.8	3.3
学んだことがある（計）	868	90.1	4.7	1.5	0.8	2.9
特に学んだことはない	156	82.1	9.0	2.6	0.6	5.8
〔啓発や学習の経験〕						
小学生の保護者	110	90.0	3.6	0.9	1.8	3.6
学んだことがある（計）	78	93.6	3.8	-	1.3	1.3
特に学んだことはない	31	80.6	3.2	3.2	3.2	9.7
中学生の保護者	334	91.0	4.2	0.9	0.6	3.3
学んだことがある（計）	288	92.0	3.8	0.3	0.7	3.1
特に学んだことはない	45	86.7	6.7	2.2	-	4.4
高校生の保護者	575	87.5	6.1	2.4	0.7	3.3
学んだことがある（計）	498	88.4	5.4	2.4	0.8	3.0
特に学んだことはない	75	81.3	10.7	2.7	-	5.3

(10) 販売業者からフィルタリングに関する説明を受けたか

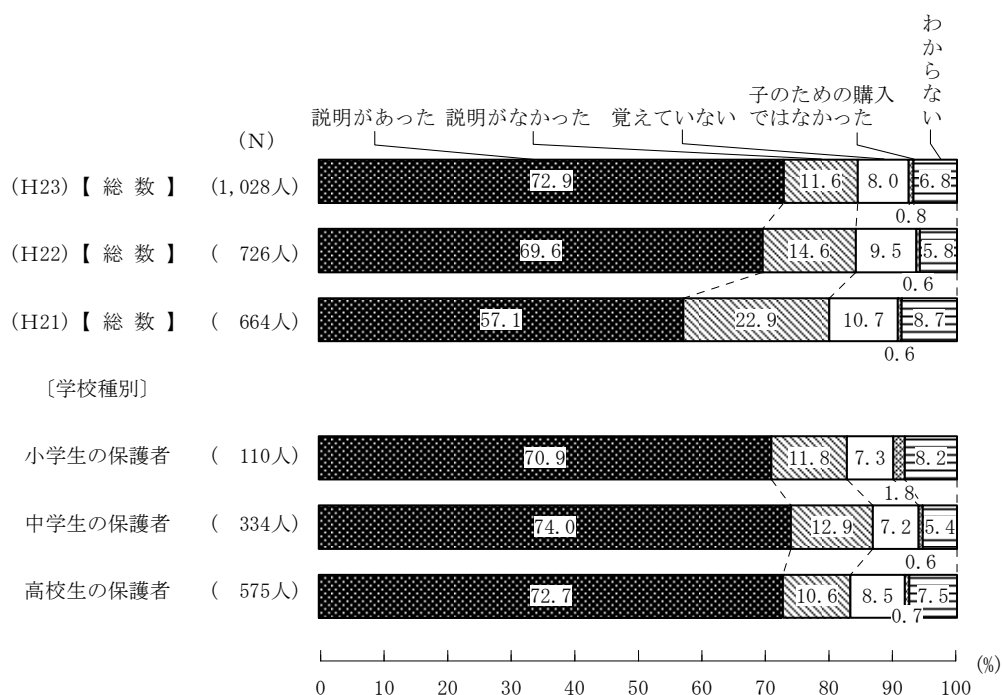
子どもが「自分専用の携帯電話を持っている」と回答した保護者（1,028人）に、携帯電話を購入する際、販売業者からフィルタリングに関する説明を受けたかを聞いたところ、「説明があった」は7割前半（72.9%）で、「説明がなかった」は1割強（11.6%）、「覚えていない」は1割弱（8.0%）となっている。

平成21年度及び22年度の調査結果と比べると、「説明があった」は毎年増加傾向を示しており、平成23年度（72.9%）は、21年度（57.1%）と比べて約16ポイント増加している。これに対して、「説明がなかった」は毎年減少傾向を示しており、23年度（11.6%）は、21年度（22.9%）と比べて約11ポイント減少している。

学校種別にみると、「説明がなかった」はいずれの学校種でも1割前半（小学生保護者：11.8%、中学生保護者：12.9%、高校生保護者：10.6%）となっている。

図表Ⅱ-2-1-22 販売業者からフィルタリングに関する説明を受けたか（学校種別）

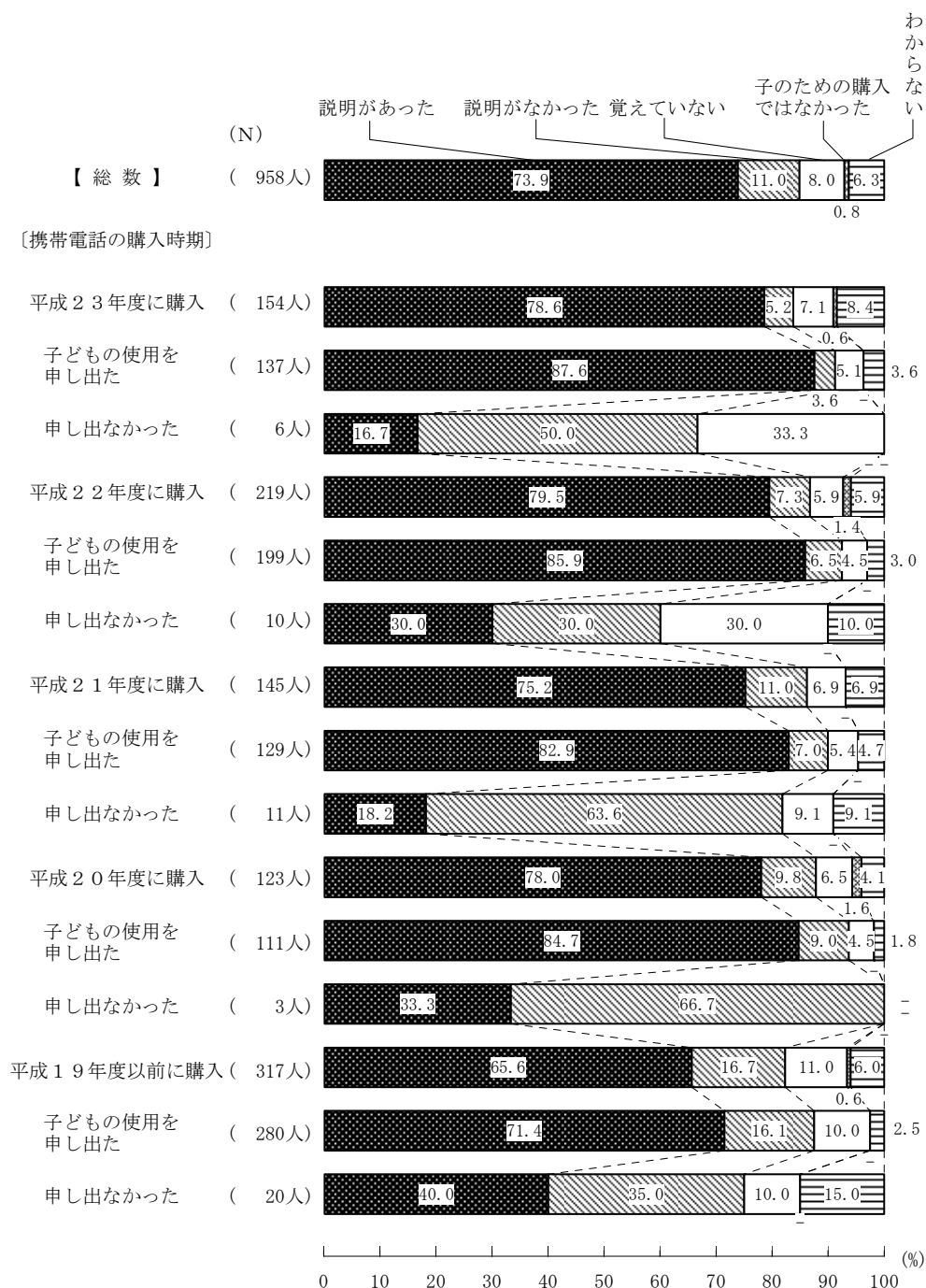
Q10 ○○さんのために携帯電話を購入する際に、販売業者から、フィルタリングに関する説明がありましたか。



携帯電話の購入時期別にみると、「説明がなかった」は、購入時期が新しくなるほど少なくなり、平成19年度以前は16.7%であるが、20年度は9.8%、21年度は11.0%、22年度は7.3%、23年度は5.2%となっている。

さらに、子どもの使用を申し出た保護者について携帯電話の購入時期別にみても、「説明がなかった」は、購入時期が新しくなるほど少なくなっている（平成19年度以前：16.1%、20年度：9.0%、21年度：7.0%、22年度：6.5%、23年度：3.6%）。一方、「説明があった」は、購入時期が新しくなるほど多くなっている（平成19年度以前：71.4%、20年度：84.7%、21年度：82.9%、22年度：85.9%、23年度：87.6%）。

図表Ⅱ-2-1-23 販売業者からフィルタリングに関する説明を受けたか（購入時期別）



\*購入時期について

自分専用の携帯電話を持っていると回答（保護者票Q1=1）した中で、青少年の現在の学年（青少年票F3）と、使い始めた学年（青少年票Q3）から算出した。

## (11) 家庭のルール

「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した青少年を持つ保護者（1,092人）に、家で携帯電話の使い方についてルールがあるかを聞いたところ、なんらかのルールを決めている家庭は76.7%、「特にルールを決めていない」家庭は23.0%となっている。決められているルールの中では「利用料金の上限を決めている」が40.5%で最も多く、次いで「守るべき利用マナーを決めている」が34.4%、「サイトについて、使用を禁止したり利用内容を決めている」が30.6%となっている。

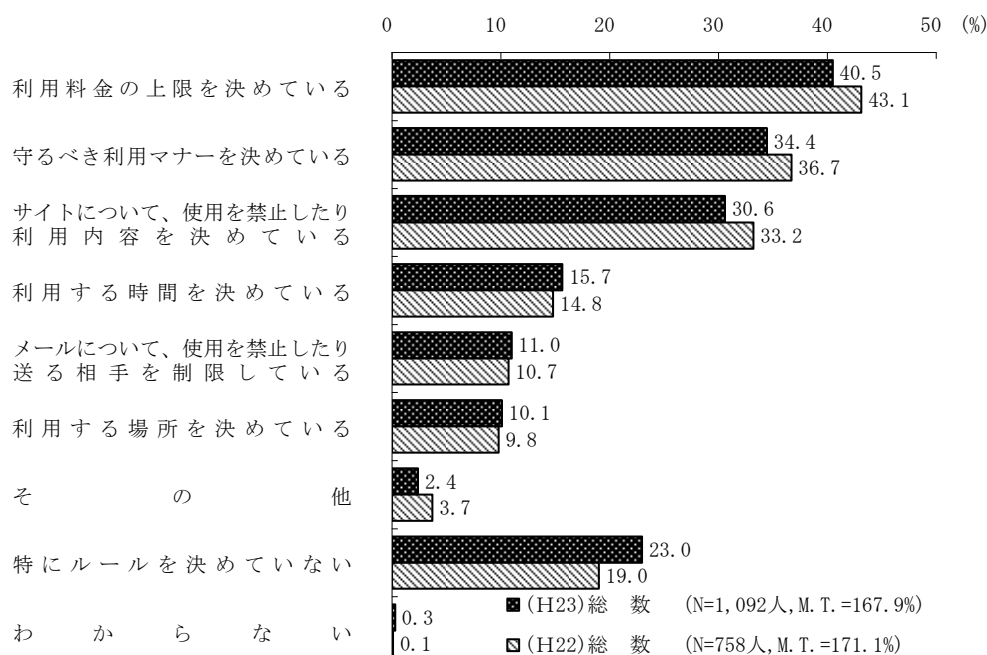
平成22年度の調査結果と比べると、上位3項目はやや減少し、「特にルールを決めていない」家庭がわずかながら増えている。

図表Ⅱ-2-1-24 家庭のルール

<〇〇さんが携帯電話を持っている方に（Q1で「1」又は「2」と回答）>

Q11 【回答票7】あなたは、〇〇さんが携帯電話を使うことについて、何かルールを決めて（いると思）いますか。この中から、あてはまるものをいくつでもあげてください。

(M. A.)





学校種別にみると、「利用料金の上限を決めている」は、学校種が上がるほど多くなり、小学生の保護者では 16.2%であるが、中学生の保護者では 34.8%、高校生の保護者では 49.7%と半数近くとなっている。一方、「メールについて、使用を禁止したり送る相手を制限している」は、学校種が下がるほど多くなり、高校生の保護者では 4.0%とほとんどみられないが、中学生の保護者では、1割半ば（14.4%）に増加し、小学生の保護者では、3割強（31.6%）に達している。

平成 22 年度の調査結果と比べると、なんらかのルールを決めている家庭は、いずれの学校種でも減少傾向にある。

図表Ⅱ-2-1-25 家庭のルール（学校種別）

	n (人)	利用料金の上限を決めて	守るべき利用マナーを	禁止したり利用内容を	サイトについて、使用を	利用する時間を決めて	禁止したり送る相手を	メールについて、使用を	利用する場所を決めて	その他	ルールを決めている(計)	特にルールを決めていない	わからない
		いる	決めている	決めている	禁止している	利用している	制限している	制限している	利用している	利用している	利用している	利用している	利用している
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 23 年度													
総数	1,092	40.5	34.4	30.6	15.7	11.0	10.1	2.4	76.7	23.0	0.3		
[ 学校種別 ]													
小学生の保護者	136	16.2	30.9	27.9	12.5	31.6	15.4	7.4	71.3	27.9	0.7		
中学生の保護者	368	34.8	42.4	39.1	23.1	14.4	12.2	2.4	82.3	17.4	0.3		
高校生の保護者	579	49.7	30.6	26.1	11.9	4.0	7.6	1.2	74.8	25.0	0.2		
平成 22 年度													
総数	758	43.1	36.7	33.2	14.8	10.7	9.8	3.7	80.9	19.0	0.1		
[ 学校種別 ]													
小学生の保護者	98	23.5	33.7	29.6	17.3	37.8	12.2	6.1	81.6	18.4	-		
中学生の保護者	286	40.6	39.5	45.1	21.3	11.5	14.7	3.8	86.0	14.0	-		
高校生の保護者	373	50.4	35.1	25.2	9.1	2.9	5.4	2.9	76.7	23.1	0.3		

青少年の携帯電話の使い方のルールについて、青少年の回答（青少年調査Q8）（第1章第1節（9）（31頁））と保護者の回答（Q11）を比較してみると、いずれのルールについても、保護者の回答が青少年の回答を上回っており、また「特にルールを決めていない」は、青少年（43.0%）が保護者（23.0%）よりも多く、20ポイント上回っている。

学校種別でみると、『ルールを決めている（計）』は、いずれの学校種でも保護者の回答が青少年の回答を上回っており、特に高校生では約27ポイントの差がある。また、「利用料金の上限を決めている」は、高校生では、青少年（26.1%）よりも保護者（49.7%）の方が約24ポイント上回っている。さらに、「守るべき利用マナーを決めている」は、中学生では青少年（25.1%）よりも保護者（42.4%）の方が約17ポイント上回っている。

図表Ⅱ-2-1-26 家庭のルール（青少年と保護者の比較）

	n (人)	利用	守る	禁	サ	利	禁	メ	利	そ	ル	特	わ	回
		料	る	止	イ	用	止	メ	用	他	ル	に	か	答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成23年度														
青少年全体	1,036	23.1	20.9	20.6	9.6	6.2	6.0	1.5	56.5	43.0	0.6	131.4		
保護者全体	1,092	40.5	34.4	30.6	15.7	11.0	10.1	2.4	76.7	23.0	0.3	167.9		
[学 校 種 別]														
小学生	133	9.0	24.1	20.3	7.5	22.6	9.0	5.3	60.2	36.1	3.8	137.6		
小学生の保護者	136	16.2	30.9	27.9	12.5	31.6	15.4	7.4	71.3	27.9	0.7	170.6		
中学生	351	23.6	25.1	31.1	15.7	6.0	8.8	1.1	68.4	31.3	0.3	143.0		
中学生の保護者	368	34.8	42.4	39.1	23.1	14.4	12.2	2.4	82.3	17.4	0.3	186.1		
高校生	545	26.1	17.8	14.1	6.2	2.4	3.3	0.9	48.1	51.9	-	122.8		
高校生の保護者	579	49.7	30.6	26.1	11.9	4.0	7.6	1.2	74.8	25.0	0.2	156.3		
平成22年度														
青少年全体	689	32.5	26.1	23.7	10.2	6.8	6.8	1.2	69.2	30.2	0.6	138.0		
保護者全体	758	43.1	36.7	33.2	14.8	10.7	9.8	3.7	80.9	19.0	0.1	171.1		
[学 校 種 別]														
小学生	90	20.0	24.4	31.1	13.3	22.2	13.3	1.1	76.7	22.2	1.1	148.9		
小学生の保護者	98	23.5	33.7	29.6	17.3	37.8	12.2	6.1	81.6	18.4	-	178.6		
中学生	266	36.1	25.6	31.2	14.7	7.5	10.2	1.9	75.6	24.4	-	151.5		
中学生の保護者	286	40.6	39.5	45.1	21.3	11.5	14.7	3.8	86.0	14.0	-	190.6		
高校生	332	33.1	27.1	15.7	5.7	1.8	2.4	0.6	62.0	37.0	0.9	124.4		
高校生の保護者	373	50.4	35.1	25.2	9.1	2.9	5.4	2.9	76.7	23.1	0.3	154.4		

(参考) 平成 21 年度青少年のインターネット利用環境実態調査

図表Ⅱ-2-3-8 家庭のルール（青少年と保護者の比較）

	n (人)	利用する時間を決めている	守るべき利用マナーを決めている	利用料金の上限を決めている	サイトについて、使用を禁止したり利用内容を決めている	利用する場所を決めている	メールについて、使用を禁止したり送る相手を制限している	その他	ルールを決めている(計)	特にルールは決めていない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
青少年	1,153	23.7	23.7	18.3	17.7	9.7	5.2	2.9	60.7	38.0	1.3
保護者	1,133	31.5	29.8	27.3	20.4	19.2	5.6	2.7	74.4	24.4	1.1

\*平成 21 年度の保護者調査では、携帯電話やパソコンのルールについて 1 つの質問で聞いているため、単純に比較ができない。そのため、青少年については携帯電話の使い方のルールとパソコンの使い方のルールの 2 つの質問を合わせて集計を行った（ルールごとにいずれかの質問で回答があれば、ルールがあるとして集計）

\*\*子どもは自宅のパソコンを使っているが、それを把握していない保護者もいたため、青少年と保護者の該当数は一致しない。

(12) ルールの遵守

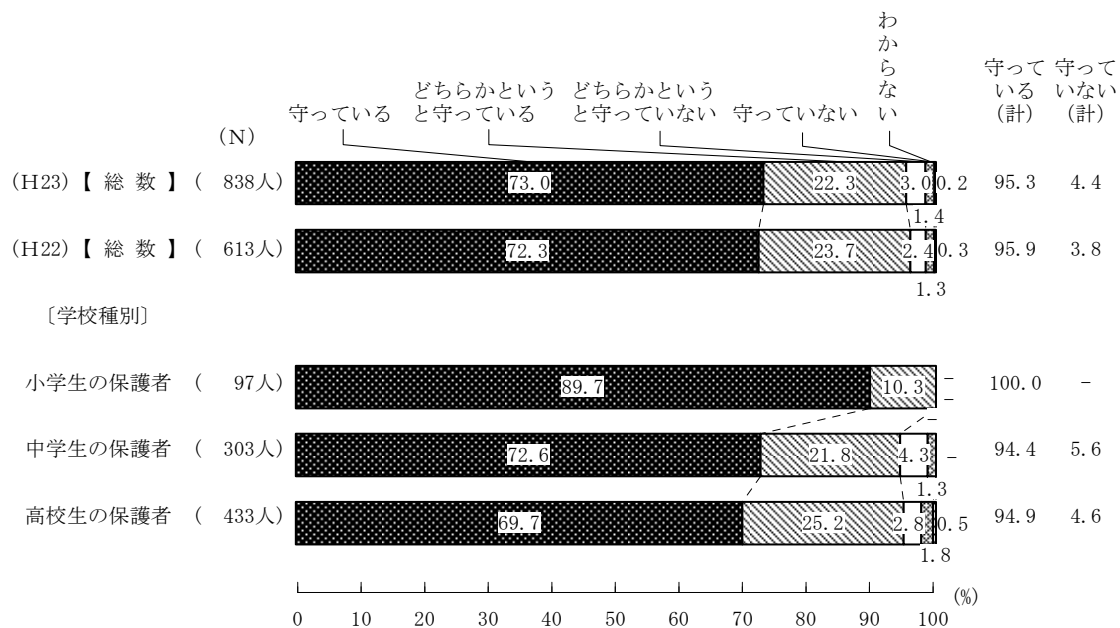
子どもの携帯電話の使い方について何らかのルールを決めていると答えた保護者（838人）に、子どもがルールを守っていると思うかを聞いたところ、「守っている」が73.0%、「どちらかというを守っている」が22.3%で、両方を合わせた『守っている（計）』は95.3%となっている。

平成22年度の調査結果と比べても、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「守っている」は、学校種が下がるほど多くなっている。また、『守っている（計）』は、いずれの学校種でも9割以上となっており、小学生の保護者では10割となっている。

図表Ⅱ-2-1-27 ルールの遵守（学校種別）

<Q11で「1」～「7」のいずれかを答えた方に>  
 Q12 【回答票8】〇〇さんは、そのようなルールを守っていると思いますか。この中から1つだけお答えください。



青少年が携帯電話の使い方のルールを守っているかについて、青少年の回答（青少年調査Q9）（第1章第1節（10）（36頁））と保護者がどの程度認識しているか（Q12）を比較したところ、高校生の「守っている」（77.5%）は保護者（69.7%）より多く、双方の認識に差がみられる。しかし、『守っている（計）』では、いずれの学校種でも青少年と保護者の間に大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-1-28 ルールの遵守（青少年と保護者の比較）

	n (人)	守っている	どちらかという 守っている	どちらかという 守っていない	守っていない	わからない	守っている (計)	守っていない (計)
		人	%	%	%	%	%	%
青少年全体	585	78.5	17.6	3.1	0.3	0.5	96.1	3.4
保護者全体	838	73.0	22.3	3.0	1.4	0.2	95.3	4.4
[学 校 種 別]								
小学生	80	88.8	8.8	1.3	-	1.3	97.5	1.3
小学生の保護者	97	89.7	10.3	-	-	-	100.0	-
中学生	240	76.7	17.9	4.6	0.8	-	94.6	5.4
中学生の保護者	303	72.6	21.8	4.3	1.3	-	94.4	5.6
高校生	262	77.5	19.8	1.9	-	0.8	97.3	1.9
高校生の保護者	433	69.7	25.2	2.8	1.8	0.5	94.9	4.6